



東京大学

理学系研究科・理学部ニュース

2014年1月号 45巻5号

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/>



ルリジサの花とミツバチの働き蜂：餌を集める働き蜂の脳で活動する新規な神経細胞が見つかりました。
～学部生に伝える研究最前線「ミツバチのダンス言語の謎に迫る脳科学」より～

本号の記事から

トピックス

学部生に伝える研究最前線

世界に羽ばたく理学博士

理学の現場

理学の本棚

新しい「生科」が始まります！ ほか

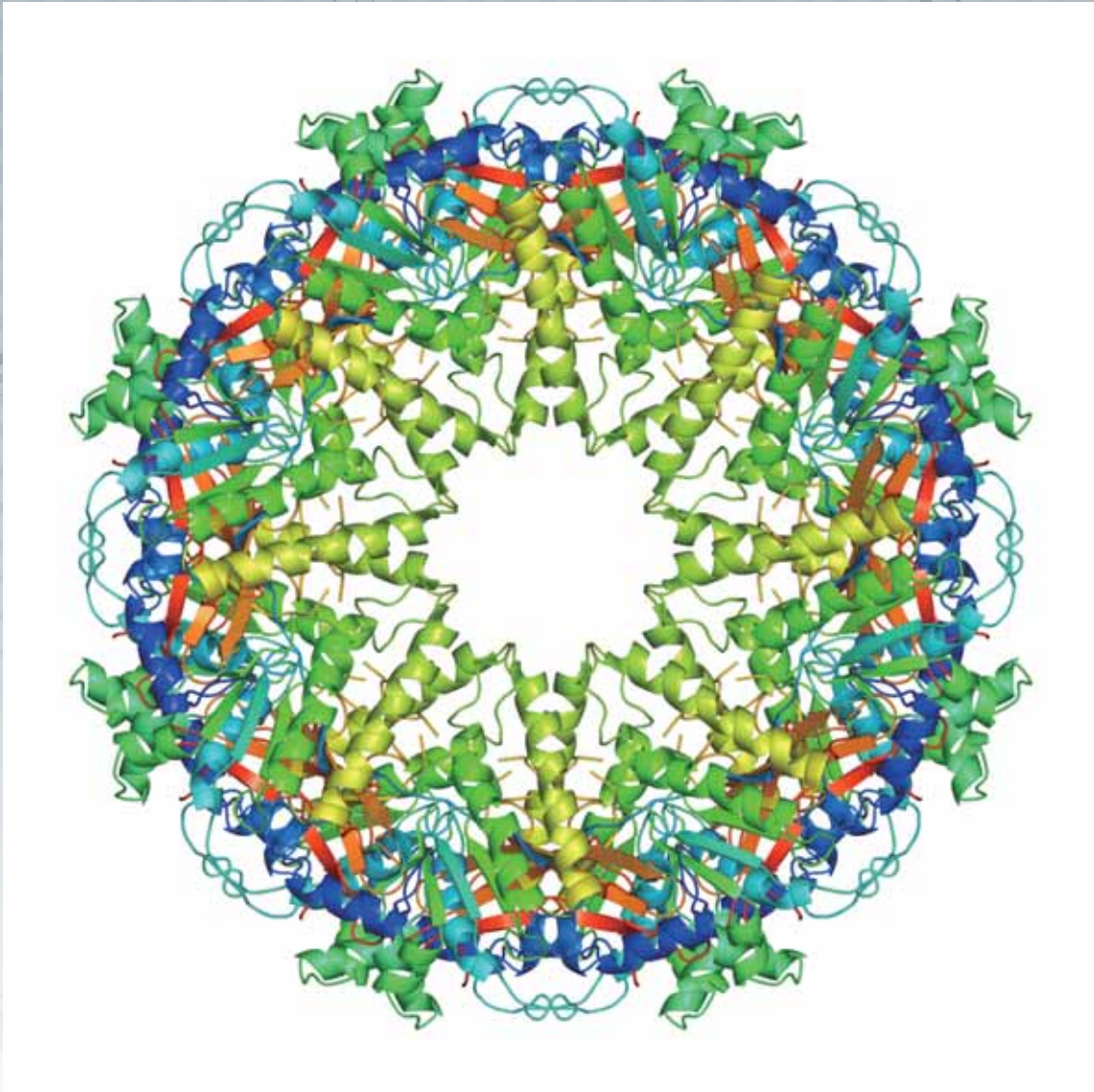
原子核の新しい魔法数 34 を発見 ほか

ふり返れば「坂の上の雲」、ではダメである
世界で活躍できる日本人へ

人類学 ー受容と偏見ー

加速器からの「放射光」を用いたサイエンス

「地質学の自然観」



「タンパク質 Dmc1 の立体構造」

減数分裂における DNA の相同組換えをつかさどる酵素 Dmc1 の結晶構造。8 個の Dmc1 タンパク質（サブユニット）が集まることにより、美しいリング状の構造を形成している。

撮影：2007 年 関根 俊一（生物化学専攻 講師）

※ 所属は撮影当時のものです。

～イメージバンクより～